

中津川第二中へ ミシン4台贈る

カタヤと東濃信金

発泡スチロール用金型メーカーのカタヤ(中津川市千旦林)と東濃信用金庫(多治見市本町)は、同社が発行したCSR型地域エール私募債「感謝債」を活用し、第二中学校(中津川市中津川)に家庭科用のミシン4台(10万円相当)を寄贈した。写真。

感謝債は、同金庫が受け取る手数料の一部で発行企業が指定する学校や団体に物品を寄贈するサービスが

付く私募債。同社は同校のミシンが古いのに加え、老朽化で困っていることを聞いてミシン4台を贈った。

同校で贈呈式があり、遠山竜也社長が「一人でも多くの生徒が長く大切に使用してほしい」と述べた。目録を受けた嶋倉伸蔵校長は「社会貢献できる二中学生が現れることを信じて育てていきたい」と感謝した。

(青山和史)

